

バンクーバー便り 30～『英語力』

バンクーバー時間：2024年10月15日(火曜日)午前11時30分

日本時間：2024年10月16日(水曜日)午前3時30分

皆さんこんにちは。バンクーバー便り 30をお送りします。

今回の話題は英語力です。日本の英語力が世界111ヶ国中80位という低迷ぶりが海外に暮らしていると歴然と認識されます。本稿の英語力とは、小難しい単語や文法をよく知っているという受験英語のことではなく、日常生活で英会話のできる力のことです。何語であれ、それを母語とする国民にとって冠詞や前置詞などの文法よりも実際に話せて聞き取れる能力を持つことが大切です。英語を主とする80近くの国家や地域以外で英語力のランキングをみると、アジア圏のフィリピン、香港、韓国、インド、中国は日本よりも上位に、また日本国内では関東・関西の大都市圏で高くなっています。

言語教育は人生の早い時期が望ましいと言われます。今年8月に8歳になった娘が、6歳の時にカナダの小学校に入学して英語生活が始まりました。それから22ヶ月が過ぎた現在、支障なく英語で会話ができるようになり、さらに学校ではReading Response(先生の音読を聞いて英文要約を書くこと)を行えるまでに上達しています。しかし音読から書き取るためスペルに間違いがありますが、先生は音として聞き取れていればスペルの間違いは気にしていません。娘の様子から英語力向上には次のポイントがあると思います。①母語(日本語)がしっかりと身につけていること一家内の努力で娘は無類の読書好きになり同年齢に比べ語彙が多い、②おしゃべりで対人接触が積極的あることスイッチがあれば切りたくなくなるほど娘はおしゃべりで初対面の子どもにも声掛けができる、③1週間168時間のうち少なくとも2割の時間は英語漬けになること一地元小学校以外では娘はめったに英語を使いません。

日本ではスペルの正確さを気にして発音にまで気がまわらない、のとはカナダの教育方針はまるで逆です。母語を話すために文法や表記法から始める人はいません。発語を言葉としてしっかりと聞き取れるようになるためには幼年期からの体験が必要です。娘はrやl、thなどを発音するときに舌の使い方を「どうのこうの」と教えられていませんが、自然に発音するようになっていきます。これは料理と似ています。美味を舌で覚えていなければいくらレシピを丸暗記してもおいしい料理は作れません。日本の受験英語はレシピばかり教えて、美味を体験したことのない料理人を育てているようです。

文部科学省は「外国語教育の抜本的強化」のためにCEFR(セフェール)という尺度を使って2023(令和5)年度における生徒と教師の英語力を報告しています。2013(平成25)年度の調査開始年度から10年経過してCEFR-A1以上の中学3年生徒とCEFR-A2以上の高校3年生徒は各々3割から5割に増加しましたが、それでも18～25歳の英語力は世界平均を下回っています。この緩やかな改善を賦活するために、例えば、時差の少ない海外の生徒と共にインターネットを使った交流授業、さらに現在は優れた翻訳アプリがあるのですから、英語の苦手な先生もアプリを使って英語で授業—英語以外にも数学・理科・社会(殊に世界史)など—を行う方が、生徒の英語力を一層早く向上させるのでは?! と勝手に思っています。

英語力の世界ランキング (2021 年度)

非常に高い	高い	標準的	低い	非常に低い
1 オランダ	14 ギリシャ	32 イタリア	61 ニカラグア	88 メキシコ
2 シンガポール	15 スロバキア	33 スペイン	62 中国	89 ウズベキスタン
3 オーストリア	16 ルクセンブルグ	34 フランス	63 タンザニア	90 ヨルダン
4 ノルウェー	17 ルーマニア	35 ウクライナ	64 トルコ	91 キルギス
5 デンマーク	18 ハンガリー	36 コスタリカ	65 ネパール	92 アゼルバイジャン
6 ベルギー	19 リトアニア	37 キューバ	66 バングラデシュ	93 ミャンマー
7 スウェーデン	20 ケニア	38 ベネズエラ	67 ベネズエラ	94 カンボジア
8 フィンランド	21 ブルガリア	39 ベラルーシ	68 エチオピア	95 スーダン
9 ポルトガル	22 フォリピン	40 ロシア	69 イラン	96 カメルーン
10 ドイツ	23 チェコ共和国	41 ガーナ	70 パキスタン	97 タイ
11 クロアチア	24 マレーシア	42 モルドバ	71 スリランカ	98 ハイチ
12 南アフリカ	25 ラトビア	43 パラグアイ	72 モンゴル	99 カザフスタン
13 ポーランド	26 エストニア	44 ボリビア	73 カタール	100 ソマリア
	27 セルビア	45 テリ	74 イスラエル	101 オマーン
	28 ナイジェリア	46 ジョージア	75 パナマ	102 サウジアラビア
	29 スイス	47 アルバニア	76 モロッコ	103 イラク
	30 アルゼンチン	48 ハンジュラス	77 コロンビア	104 コートジボワール
	31 香港特別行政区	49 ウルグアイ	78 アラブ酋長国連邦	105 アンゴラ
		50 エルサルバドル	79 アルジェリア	106 タジキスタン
		51 ベルギー	80 日本	107 ルワンダ
		52 インド	81 インドネシア	108 リビア
		53 ドミニカ共和国	82 エクアドル	109 イエメン
		54 レバノン	83 シリア	110 コンゴ民主共和国
		55 ウガンダ	84 クウェート	111 ラオス
		56 チュニジア	85 エジプト	
		57 アルメニア	86 モザンビーク	
		58 ブラジル	87 アフガニスタン	
		59 グアテマラ		
		60 ベトナム		

地域

関東	515
関西	512
中部	497
九州・沖縄	472
東北	466
四国	465
中国	463
北海道	462

年齢

18-20 歳 当該年齢の英語力

同年齢の世界平均

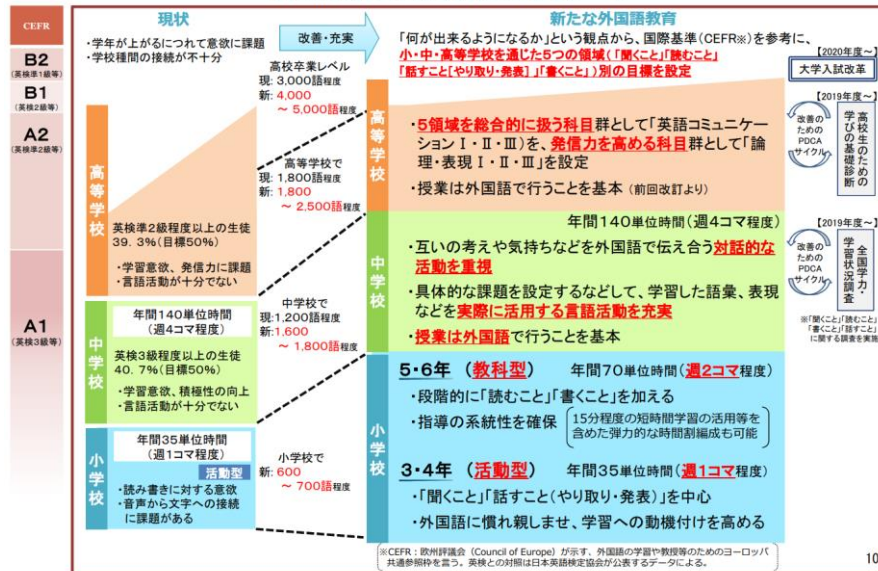
21-25 歳

26-30 歳

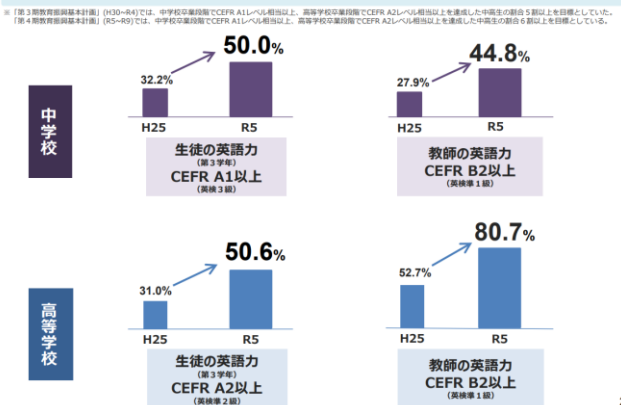
31-40 歳

41+ 歳

外国語教育の抜本的強化のイメージ



平成25年度の調査開始以来、**生徒や教師の英語力は着実に向上している。**



CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 (1~3級)	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R / TOEIC S&W (注)
C2	230	230	230	9.0				
C1	199	3299	1400	8.0	400	800	120	1990
	180	2600	1350	7.0	375		95	1845
B2	179	2599	1349	6.5	374	795	94	1840
	160	2300	1190	5.5	309	600	72	1560
B1	159	2299	1189	5.0	308	595	71	1555
	140	1950	960	4.0	225	420	42	1150
A2	139	1949	959		224	415		1145
	120	1700	690		135	235		625
A1	119	1699	689					620
	100	1400	270					320